



公明党 神戸市会議員

はぎわら泰三

通信
Vol.026

2026年1月号



ごあいさつ

2026年がスタートしました。昨年は、公明党にとって大きな節目を迎え、国政で26年間連立を組んできた自民党と一旦離れ、野党になりました。市民の皆様から「神戸市会はどうなるの?」としばしば質問を受けますが、国政と地方議会は構図が大きく異なり、神戸市会では今も公明党は与党会派のままで、これまでと変わりありません。

さて、今年の5月になれば、私の任期も残すところ1年間となります。本年も、市民の皆様からの様々な声を聞き、神戸市に届けてしっかりとカタチにしてまいる決意です。本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。

来年度予算に向け市長要望しました

12月16日に来年度予算編成に向けて、久元市長に要望を行いました。市民の皆様からいただいたお声や、継続的な課題、将来を見据えた新たな取り組みなど、19項目にわたり要望しました。私からは以下の2点の要望を行いました。



【安全な歩行者空間の確保】

中央区では三宮から神戸駅にかけて、都心の再整備が進んでおり、まちなかを車中心から人中心の空間へと転換しています。一方で、近年は多様な電動モビリティの開発が著しく、特例特定小型原動機付自転車の新設で、自転車歩行者道上には歩行者・自転車・電動モビリティが混在し、通行環境の混乱が拡大しています。そこで、歩行者とその他のモビリティの通行空間を明確に分離し、**安全性を確保するための自転車通行帯の整備の推進**を要望しました。

【既成市街地のリニューアルの推進】

都心部の再整備やウォーターフロントの再開発は、神戸市の「特別用途地区」すなわち都心機能誘導地区内の主要事業として、都市の活力とにぎわいの創出に寄与しています。



引用元:Google Maps

しかし、「特別用途地区」内には、様々な歴史的背景、景観をもつ魅力あるエリアが多数存在しています。その特徴を生かすことが地区全体の魅力を相乗的に高めることから、国が推進する「柔らかい区画整理」の考え方を踏まえ、より魅力的な景観、空間の整備、雇用創出、防災性の向上などを目指し、行政、実務者、地権者等による取り組みを進めるよう要望しました。

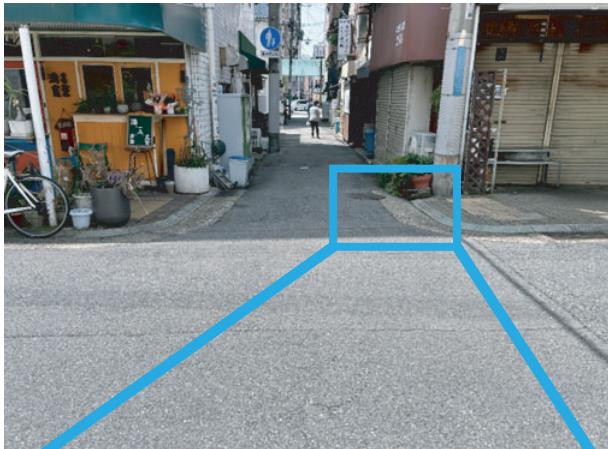
もちつき大会・防災訓練で防災・防犯力の向上を

神戸市内では、12月から1月末にかけて、ふれあいのまちづくり協議会などの地縁団体が主催し、もちつき大会や防災訓練が各地で開催されます。地域の皆さんのが顔を合わせ、世代を超えて交流できるこれらの行事は、地域コミュニティを支える大切な機会となっています。

私自身、12月は毎週末、もちつき大会に参加し、1月は防災訓練にも参加しています。また、地域行事への参加は、防災だけでなく防犯の面でも大きな効果があります。顔の見える関係が広がることで、子どもや高齢者を地域全体で見守る体制の強化につながります。皆様も、ぜひ地元のもちつき大会や防災訓練に積極的に参加していただき、交流を深めることで、災害時の共助力の向上とともに、日常の防犯意識の醸成にも寄与していただければと思います。地域のつながりが、いざという時の命と暮らしを守る力になります。



市民の声を力タチにしました



Before



加納町3丁目の観光客や地元住民が頻繁に通る歩道の切り下げ部が急激で、側溝の勾配もきついたためにVの字段差になり、つまずいて転倒する高齢者や、段差につっかえて車イスや手押し車が進めなくなることがあると、近隣の店舗の方から連絡がありました。

こここの歩道はまだバリアフリー化整備がされていませんでしたが、周辺の歩道も含めて、バリアフリー化の工事を神戸市にしてもらい、誰もが安心して通れる歩道になりました。



公明党市会議員団控室

〒650-8570
神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL: 078-322-5842



Instagram